

福山市農業後継者クラブが市立大学生と交流

【平成 28 年 10 月 21 日掲載】

福山市農業後継者クラブ（会長：寶諸孝也（ほうしょたかや）、会員 15 名）は、9 月 23 日、「農業に関心を持つ大学生と農業体験を通じて交流を図り、若い世代の農業に対する意見を聞くこと」や、「学生に農業の現場を知ってもらい、農業をより身近に感じてもらうと共に、地場農産物の魅力を伝え、地産地消の推進を図ること」を目的に農業体験交流会を開催し、クラブ員 6 名、福山市立大学生 6 名が参加しました。

最初に、後継者と学生は道の駅「アリストぬまくま」を視察し、道の駅の 3 つの機能（①休憩機能、②情報発信機能、③地域の連携機能）や、地元でとれた瀬戸内の新鮮な魚や野菜、果物などを販売する自由市場などの説明を受けました。

次に、JA福山市沼隈ぶどう選果場を視察し、沼隈ぶどう栽培の歴史や取組みについて説明を受けました。

最後に、クラブ員の宮澤博好（みやざわひろみ）さんのぶどう園で収穫体験を行いました。野菜を育てようサークル代表の西岡茉衣子さんは、「ぶどうの収穫体験で生産者の方と直接お話しを聞く機会が持てて良い経験になった。地元農家の方が一生懸命栽培されていることが分かったので、これからは地元の野菜などを積極的に購入したいと思う。」と話していました。

寶諸会長は、「学生に福山の農業を知ってもらうことができた。今後、交流を続けて学生の意見を取り入れて、経営に活かしたい。」と話していました。



【沼隈ぶどう選果場で説明を受ける様子】



【ぶどうの収穫体験の様子】